



この日の天気予報は雨であった。しかし登山口の平沢峠に着いたときにパラパラときた程度で、その時点でさえ上空は晴れ間が見え、このように虹さえ出ている。しかもこの虹、よく見ると二重なのである。登って行くうちに晴れ間はだんだん大きくなり、完全に雲の下であった八ヶ岳や南アルプスも時を経るに従ってその様相をはっきりとさせて行き、とうとう富士山まで負けじとその姿を現した。条件は最高である。しかし最高はこの日の天候だけで、今年の暖冬はどうすることも出来ず、雪は少ないどころか、南面の日当りのいいところなんかはドロドロで美しい雪山なんていうところではない。



飯盛山は八ヶ岳の南東に位置しているが、八ヶ岳とは繋がっていない。小海線を挟んで対面にある。だから八ヶ岳の展望台と言われているが、我々が山頂にいた時にはまだ八ヶ岳の全貌は見えていなかった。まあ季節外れの雨歩きを逃れただけで良かったとしておこう。それでも登りが1時間半で降りが1時間で、しかも標高差も200m強では物足りないの感想は致し方のないところである。

メンバーは満席の22名、そのうち男は6名。知った顔はいないと思ったが、“この前の湯の丸山では”などと話し合っているバアサマもいたので、俺が気が付かなかっただけなのであろう。

ツアーリーダーはメインが初心者ジイサマの宮崎さん。サブは俺が中年初心者お婆さんとあだ名をつけた豊岡さんであるが、なんと大学生の息子が二人いるという。俺の人を見る目の無さも大変なもんだ。それにもう一人初期中年おじさんの楠元さんが付いた。豊岡さんも楠元さんも昨年9月位からツアーリーダーになったとのことである。植草ご夫妻や梶原さんは引退したし、花岡さんもツアーのレベルを下げているという。俺自身のレベル低下とともにこんなことから俺の時代の過ぎ去っていくことを感じてしまう。寂しいことだ。